

新庁舎建設

11月末完成



新美 秀夫 議員



新庁舎建設風景

問 新庁舎棟と事業全体の完成見込み時期。

答 本年11月末には完成し、新年からの業務開始を予定。

平成29年3月には全工事の完成を見込む。

問 現在工事費の増減はあるか。

答 工事費の増減はなし。

問 新庁舎業務再開後の主な庁舎管理の業種と発注方法は。

答 一部業務を除き、総合管理方式とし、競争入札にて実施。

問 新庁舎完成時の来庁者の進入路および駐車場は。

答 現在の工事資材搬入用の県道乗り入れ口と町道4059号線を進入路にする。

駐車場は敷地内を含め約150台を確保。

問 新庁舎の町民サービス部門がワンストップ窓口で再開する。準備はどのようにするのか。

答 庁舎内窓口ワークینگグループにて、住民サービスのあり方を検討し、開庁前に実地訓練を行う。

問 新庁舎の基本方針に差異はないか。

答 基本構想の3項目を実施設計に反映。

- ①安全・安心で利用しやすい防災拠点となる庁舎
- ②町民が交流・参加できる多目的ホールを併設した複合型庁舎
- ③環境に配慮した効率的・経済的な庁舎

半田池

取得を断念

問 平成25年3月に、植大の住民から「半田池の景観保全と防災ため池としての位置づけ」の要望書が提出され、同年8月に、「地権者と協議しており結論に至っていない」との趣旨の回答であった。

その後、どのようなことがあったか。

答 地権者及び半田市と面談を重ねるなかで、半田市と共同で池を含めて公園整備することとなつた。

また、ある程度の面積の池を町単独で取得したとしても、堤の耐震化を含む改修事業や余水吐、排水口などの管理の問題があり、取得を断念した。

今後は、本町の開発指針や土壌汚染防止条例に基づき、災害を未然に防ぐよう指導をする。



現在の半田池の様子